

隣県で牛ボツリヌス症の発生が確認されました

【牛ボツリヌス症とは】



ボツリヌス菌が産生した毒素により発症する病気です。
起立不能、流涎(よだれ)、舌麻痺(舌の下垂)、呼吸困難などがみられます。また、発症すると**致死率が高く、短期間に飼養家畜の大半が死亡**することもあり、**大きな経済的損失を引き起こす**ため注意が必要です。

【発生の原因】

ボツリヌス菌は自然界に広く分布しており、条件が整うと増殖して毒素を産生します。牛では品質の悪いサイレージや小動物の死骸・糞が混入した餌・水・敷料の摂取により発症します。

✓ 注意のポイント

- サイレージの適切な調整・管理
- 品質の悪いサイレージは与えない
- 野生動物、野鳥(特にカラス)の侵入防止
- 畜舎(飼槽・水槽)やその周辺の清掃・消毒
(有効な消毒薬:塩素系、ヨード系、アルデヒド系)
- ワクチン接種(4週間あけて2回接種)

有効な治療法がないため、発生予防が重要！

異状をみつけた場合には直ちに診療獣医師又は
山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018